

# 観光ガイドに挑戦しました！

おみごと！

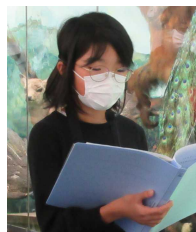


子ども観光ガイド育成塾10月30日(日) ~つやま自然のふしぎ館・津山郷土博物館~

いよいよ観光ガイド本番、子どもたちは、家族や友だちの前で緊張しながらも、堂々と案内することができました！当日、子どもたちの見事な案内を見て「素晴らしい！」「よく調べていて感心しました！」などの声がたくさん寄せられました。



人間の本物の臓器がホルマリン漬けにしてあり、いつでも展示するのは岡山ではここ、つやま自然のふしぎ館だけです。ホルマリンのphは2.8~4.0で、とても低く強い酸性とわかります。



「スマトラトラ」は、亜熱帯地域に生息していて、体毛も、うすく骨ばっていますが、亜寒帯地域に生息している「シベリアトラ」は体毛も豊富で皮下脂肪も厚くなっています。いずれのトラも絶滅の危機に瀕している貴重な種類です。



鹿児島に住んでいるアマミノクロウサギは、特別天然記念物で、数が減り続けています。それは、森林開発や外来種による捕食、交通事故などが原因とされています。僕たち人間も動物たちが生活しやすい環境を作ってあげないといけないと思いました。



「アムールトラ」はシベリアというとても寒い地域に住んでいます。だから、体を暖かくするために、毛がフサフサしていて、皮下脂肪が多く丸々しています。「スマトラトラ」は、インドネシアにあるスマトラ島という熱帯地域に住んでいます。毛がうすく、皮下脂肪が少ないので、体が細いです。同じトラでも住んでいる環境や住む地域に合わせて体の形が変わることが観察できます。

中東地域には、ヒツジの仲間のバーバリシープとニルギリタール、またヤギの仲間のマーコールとワリアアイベックスがいます。イスラム教の教えで牛肉と豚肉を食べたらいけないので、ヒツジとヤギを飼っており食糧としています。



津山郷土博物館、昭和8年生まれの前市役所です。当時、3階建てのコンクリート造りはとてもめずらしかったそうです。階段は大理石で、サンゴや貝などの化石が積み重なってできているので、この階段にもいくつかかかれています。



津山城は、1600年に起こった関ヶ原の戦いの後、美作の国を支配することになった森忠政によって建てられた平山城です。兵庫県の姫路城、愛媛県の松山城と並び、日本三大平山城とされています。



熊毛槍とは、その名のとおり、鞘の装飾に熊の毛を用いたものです。この槍は津山松平藩の目印とされていたもので、江戸で藩主が出かける際には、乗り物の近くにこの槍がそびえていました。熊毛槍には、黒と白があって、黒は藩主、白は嫡嗣(次の藩主)が用いたもので、1本当たり、15Kgもありました。



観光ガイドに認定！